

教養課程における外国語教育の実情調査報告書

昭和46年11月

国立大学協会

教養課程に関する特別委員会

教養課程における外国語教育の実情調査報告書

目 次

まえがき	1
第一部 教官に関する質問事項	1
I 外国語担当教官の所属	1
II 外国語担当教官の員数（実員数）	2
III 外国語担当教官の授業負担	6
1) 1週間の授業回数	6
2) 教養課程の外国語の授業以外の講義等の負担	10
3) 1回の時間数	10
IV 外国語担当教官の研究条件	12
1) 在 外 研 究	12
2) 国 内 研 究	13
V 外国語担当教官の新規採用について	14
1) 困 難 度	14
2) 困難な理由	15
3) 採用の方法	15
第二部 学生に関する質問事項	16
I 外国語の種類と単位数	16
1) 開講している外国語の種類	16
2) 卒業要件となる外国語の単位	16
3) 卒業要件となる外国語の種類	16
4) 必須単位数以上をとる学生数	17
II 外国語の履習方法および授業内容	17
1) 外国語の履習方法	17
2) 授業の内容	18

III 外国語の学習条件について	20
1) クラス編成の方法	20
2) 卒業要件となる外国語のクラスの大きさとその数	20
IV 入学試験について	23
1) 音声面のテストの有無と理由	23
2) 第2外国語と入試科目	23
第三部 施設に関する質問事項	24
I ランゲージ・ラボラトリー（L.L.）について	24
1) L.L.の有無	24
2) L.L.の所属学部もしくは教科等	24
3) L.L.設置の時期（年度）	24
4) L.L.の予算	25
5) L.L.増設の必要度	25
6) L.L.以外のもしくはそれに附随する視聴 覚教具の有無	25
7) 語学関係の特別な学習室・図書室等の有無	25
8) Language Center（またはこれに類するもの）の有無	25
9) L.L.の種類・規模・利用状況	25
(1) L.L.の種類と規模	25
(2) Visualaids, Analyser の併置の有無	26
(3) L.L.の利用状況	26
第四部 改革状況に関する質問事項	27
1) 外国語教育の改革について	27
2) 改革がなされる場合の具体的内容と問題点	27
3) 現在検討中の場合の予想される内容	27
4) 要 望 事 項	27

教養課程における外国語教育の実情調査報告書

第一部 教官に関する質問事項

まえがき

この報告書は、教養課程における外国語教育の改善をはかるため、各国立大学における外国語教育の実情についてアンケート調査を行ない、ここに、これを集計して、今後における外国語教育の改善をはかる際の基礎資料に供しようとするものである。

昭和46年11月

国立大学協会

教養課程に関する特別委員会

(注)

各大学よりの回答(昭和46年4月20日現在調査)を入学定員数に応じて下記のA・B・Cの3グループに分けて集計した。

A=入学定員 1,501以上の 10大学(入学定員総数 21,006)

B= " 1,001以上 ~1,500までの 15大学(" 18,660)

C= " 1,000以下の 45大学(" 25,999)

A+B+C= 70大学(" 65,665)

無回答 5大学(" 2,447)

I 外国語担当教官の所属について

所 属	グループ	A	B	C	計
イ. 教養部もしくは教養学部		9	11	11	31
ロ. 文学部、文理学部もしくは教育学部に所属している。		1	3	14	18
ハ. その他の各種学部に分散して所属している		0	0	3	3
ニ. いかなる学部にも所属せず、人文社会系列の教官グループの一部として独立している		0	0	1	1
ホ. その他		0	1	14	15

Ⅱ 外国語担当教官の員数（実員数）

A（10大学 21,006）

職 名			担当外国語名	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	スペイン語	其 他	合 計	学生入学定員 総数に対する%	備 考
専 任	教 助 講	授 教 授 師		名	名	名	名	名	名	名		名	括弧内は外 国語教員総 数に対する %
				221(43.7%)	191(37.7%)	60(11.9%)	23(04.5%)	7(01.2%)	0	4(00.8%)	506(100%)	02.4%	
兼 任	助 手	授 業 担 当		0	1	0	0	0	0	0	1		
		L・L・担当		1	0	0	0	0	0	0	1		
		そ の 他		2	4	0	1	1	0	1	9		
	学 内 併 任	教 助 授 師		7	8	4	1	1	0	0	21	00.09%	
		授 業 担 当		1	0	0	0	0	0	0	1		
		L・L担当		0	0	0	0	0	0	0	0		
		そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0		
外 国 人	非 常 勤 講 師			182	124	56	24	11	1	9	407	01.93%	
	専 任 教 師			6	4	2	0	0	0	0	12	00.05%	
	併 任 教 師			1	1	4	0	2	0	0	8	00.03%	
	兼任教師（他大学との）			0	0	0	0	0	0	0	0		
	非 常 勤 講 師			13	8	2	1	0	2	0	26	00.12%	

B (15大学 18,660)

職 名		担当外国語名	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	スペイン語	其 他	合 計	学生入学定員 総数に対する%	備 考
専 任	教 授	授 業 担 当	138(51.5%)	101(37.7%)	20(07.5%)	4(01.5%)	5(01.9%)	0	0	268(100%)	01.44%	括弧内は外 国語教員総 数に対する %
	助 手	L・L・担当	4	8	2	0	0	0	0	14		
		そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0		
		そ の 他	1	0	0	0	0	0	0	1		
兼 任	学 内 併 任	教 授	107	33	8	3	2	0	3	156	00.84%	
		助 教 授										
		講 師										
		授 業 担 当	4	0	0	0	0	0	0	4		
	助 手	L・L担当	0	0	0	0	0	0	0	0		
		そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0		
外 国 人	非 常 勤 講 師		151	110	32	9	11	0	2	315	01.69%	
	専 任 教 師		7	1	0	0	0	0	0	8	00.04%	
	併 任 教 師		1	1	0	0	0	0	0	2	00.01%	
	兼任教師(他大学との)		0	0	0	0	0	0	0	0		
	非 常 勤 講 師		6	9	4	0	2	0	0	21	00.11%	

C (4 5 大学 2 5, 9 9 9)

職 名		担当外国語名	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	スペイン語	其 他	合 計	学生入学定員 総数に対する%	備 考
専 任	教 授		名	名	名	名	名	名	名	名	名	括弧内は外 国語教員総 数に対する %
	助 教 授		245(56.2%)	139(31.9%)	37(08.5%)	4(00.9%)	6(01.4%)	5(01.1%)	0	436(100%)	01.68%	
	助 手	授 業 担 当	8	13	4	1	0	1	0	27		
		L・L・担当	2	1	0	0	0	0	0	3		
兼 任	学 内 併 任	そ の 他	1	1	0	0	0	0	0	2		
		教 授										
		助 教 授	85	6	10	5	5	6	0	117	00.45%	
		講 師										
	助 手	授 業 担 当	6	0	1	0	0	0	0	7		
		L・L担当	0	0	0	0	0	0	0	0		
		そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0		
	非 常 勤 講 師		243	162	65	29	14	3	5	521	02.04%	
外 国 人	専 任 教 師		19	2	1	0	1	0	0	23	00.09%	
	併 任 教 師		4	1	0	0	0	0	0	5	00.02%	
	兼任教師(他大学との)		2	0	0	0	0	0	0	2	00.01%	
	非 常 勤 講 師		20	8	2	0	0	2	1	33	00.13%	

A+B+C (70大学 65,665)

職 名			担当外国語名	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	スペイン語	其 他	合 計	学生入学定員 総数に対する%	備 考
専 任	教 助 講	授 教 師	授 業 担 当	604(49.8%)	431(35.6%)	117(9.7%)	31(2.6%)	18(1.5%)	5(0.4%)	4(0.4%)	1,210(100%)	01.84%	括弧内は外 国語教員総 数に対する %
			L・L・担当	3	1	0	0	0	0	0	4		
			そ の 他	4	5	0	1	1	0	1	12		
			そ の 他	4	5	0	1	1	0	1	12		
兼 任	学 内 併 任	教 助 講 師	授 業 担 当	199	47	22	9	8	6	3	294	00.45%	
			L・L・担当	11	0	1	0	0	0	0	12		
			L・L・担当	0	0	0	0	0	0	0	0		
			そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0		
			そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0		
外 国 人	専 任 教 師	併 任 教 師	非 常 勤 講 師	576	396	153	62	36	4	16	1,243	01.89%	
			専 任 教 師	32	7	3	0	1	0	0	43	00.07%	
			併 任 教 師	6	3	4	0	2	0	0	15	00.02%	
			兼任教師(他大学との)	2	0	0	0	0	0	0	2	00.003%	
外 国 人	専 任 教 師	併 任 教 師	非 常 勤 講 師	39	25	8	1	2	4	1	80	00.12%	
			専 任 教 師	32	7	3	0	1	0	0	43	00.07%	
			併 任 教 師	6	3	4	0	2	0	0	15	00.02%	
			兼任教師(他大学との)	2	0	0	0	0	0	0	2	00.003%	

Ⅲ 外国語担当教官の授業負担について

1) 1週間の授業回数(いわゆるコマ数または枠数)は、平均して次表のようになる。

A (括弧内のアラビア数字は比較的多い回数)(←)=1大学、(≡)=2大学のみ)

職 名			担当外国語名	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	スペイン語	其 他
専 任	教 授	回								
		助 教 授		4 - 6 (6)	5 - 7 (6)	5 - 7 (6)	3 - 6 (6)	4 - 7 (5)	1 (←)	3 (←)
	助 手	授 業 担 当			6 (←)					
		L・L・担当								
兼 任	学 内 併 任	教 授								
		助 教 授		1 - 5 (2)	1	1	2 (←)			1 (←)
	助 手	授 業 担 当		2 (←)						
		L・L担当								
外 国 人	非 常 勤 講 師			2 - 3 (2)	2 - 4 (2)	2 - 4 (2)	1 - 8 (2)	1 - 4 (2)	1 (←)	1 - 2 (2)
	専 任 教 師			2 - 6 (5)	5 - 6 (≡)					
	併 任 教 師				1 (←)	1 - 2 (1)		2 (←)		
	兼任教師(他大学との)									
外 国 人	非 常 勤 講 師			2 - 3 (2)	1 - 6 (1)	2 (≡)				

B (括弧内のアラビア数字は比較的多い回数) (一)=1大学、(二)=2大学のみ)

職 名		担当外国語名	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	スペイン語	其 他
専 任	教 授		回	回	回	回	回	回	回
	助 教		1 - 6 (6)	2 - 7 (6)	2 - 6 (6)	2 - 5 (5)	1 - 5 (1)		
	講 師								
兼 任	助 手	授 業 担 当	6 (一)	1 - 6 (6)	7 - 8 (一)				
		L・L・担当							
	学 内 併 任	教 授							
		助 教 授	1 - 6 (2)	1 - 6 (3)	1 - 6 (4)	1 - 4 (二)	3 (二)		2 (一)
		講 師							
外 国 人	助 手	授 業 担 当	2 - 4 (3)	5 - 6 (二)	4 (一)				
		L・L・担当		3 (一)					
	非 常 勤 講 師		1 - 6 (2)	1 - 7 (2)	1 - 12 (2)	2 - 3 (2)	1 - 4 (2)		1 - 4 (二)
	専 任 教 師		5 - 6 (6)	2 (一)					
	併 任 教 師		1 (一)	1 - 3 (二)					
兼 任 教 師 (他大学との)									
	非 常 勤 講 師		1 - 4 (2)	1 - 5 (2)	1 - 2 (2)				

C (括弧内のアラビア数字に比較的多い回数) (→=1大学のみ)

職 名			担当外国語名	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	スペイン語	其 他
専 任	教 助 講 師	授 業 担 当	回	回	回	回	回	回	回	回
			1－1 0 (6)	1－1 0 (6)	1－1 0 (6)	4 － 6 (6)	1 － 7 (6)	1 － 2 (→)		
	手	L・L・担当	4 － 8 (5)	4 － 6 (5)	4 (→)	6 (→)				
1 (→)			5 (→)	7 (→)	3 (→)	2 (→)				
兼 任	学 内 併 任	教 助 講 師	授 業 担 当	1－1 2 (4)	1 － 5 (2)	1 － 4 (1)	1 － 2 (1)	1 － 7 (1)	1 (→)	
			手	授業担当	2 － 5 (5)		1 (→)		1 (→)	
		手	L・L・担当							
				非 常 勤 講 師	(2)	(2)	(2)	1 － 4 (1)	1 － 4 (1)	1 (→)
	外 国 人	専 任 教 師		1－1 0 (6)	4 (→)	5 (→)		1 (→)		
併 任 教 師		2 (→)	2 (→)							
兼任教師（他大学との）										
非 常 勤 講 師		1 － 5 (2)	1 － 4 (1)	1 － 2 (1)			1 (→)			

A + B + C (括弧内のアラビア数字は比較的多い回数) (一)=1大学、(二)=2大学のみ)

職 名			担当外国語名	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	スペイン語	其 他
専任	教 助 講 師	授 業 担 当	回	回	回	回	回	回	回	回
		授 業 担 当	1－10 (6)	1－10 (6)	1－10 (6)	2 － 6 (6)	1 － 7 (6)	1 － 2 (二)		
	助 手	L・L・担当	4 － 8 (5)	4 － 6 (6)	4 － 8 (二)	6 (一)				
L・L・担当		1 (一)	5 (一)	7 (一)	3 (一)	2 (一)				
兼任	学 内 併 任	教 助 講 師	1－12 (2)	1 － 6 (2)	1 － 4 (4)	1 － 4 (2)	1 － 7 (1)	1 (一)		
		助 手	授業担当	2 － 5 (3)	5 － 6 (二)	1 － 4 (二)				
			L・L・担当		3 (一)					
	非 常 勤 講 師		(2)	(2)	(2)	1 － 8 (2)	1 － 4 (2)	1	1 － 4 (2)	
外国人	専 任 教 師		1－10 (6)	2 － 6 (4)	5 (一)		1 (一)			
	併 任 教 師		1 － 2 (二)	1 － 3 (2)	1 － 2 (1)		1 － 2 (1)			
	兼任教師（他大学との）									
	非 常 勤 講 師		1 － 5 (2)	1 － 4 (1)	1 － 2 (2)			1 (一)		

A

2) 教養課程の外国語の授業以外に講義演習等を学内で担当している教官数は(96(19%))名であり、その講義・演習等の授業回数は1週間に計(106)回である。

上記の場合、外国語授業の負担は、

- イ. その分だけ軽減される 0
- ロ. 若干軽減される 1
- ハ. 軽減されない 5
- ニ. 軽減されるか否かは年度状況によって異なる 0

3) 1回の時間数は、

- 90分 8大学
- 100分 2大学

B

2) 教養課程の外国語の授業以外に講義演習等を学内で担当している教官数は(132)名であり、その講義・演習等の授業回数は1週間に計(211)回である。

上記の場合、外国語授業の負担は、

- イ. その分だけ軽減される 5
- ロ. 若干軽減される 1
- ハ. 軽減されない 7
- ニ. 軽減されるか否かは年度状況によって異なる 2

3) 1回の時間数は、

- 90分 5大学
- 100分 10大学

C

2) 教養課程の外国語の授業以外に講義演習等を学内で担当している教官数は(206)名であり、その講義・演習等の授業回数は1週間に計(317)回である。

上記の場合、外国語授業の負担は、

イ. その分だけ軽減される	11
ロ. 若干軽減される	3
ハ. 軽減されない	5
ニ. 軽減されるか否かは年度の状況によって異なる	6

3) 1回の時間数は、

50分	4大学
80分	1大学
85分	1大学
90分	10大学
100分	26大学
110分	3大学

A+B+C

2) 教養課程の外国語の授業以外に講義演習等を学内で担当している教官数は(434)名であり、その1週間の授業回数は計(634)回である。

上記の場合、外国語授業の負担は、

イ. その分だけ軽減される	16
ロ. 若干軽減される	5
ハ. 軽減されない	17
ニ. 軽減されるか否かは年度の状況によって異なる	8

3) 1回の時間数は、

50分	4大学
80分	1大学
85分	1大学
90分	23大学
100分	38大学
110分	3大学

Ⅳ 外国語担当教官の研究条件について

1) 在 外 研 究

① (期間の長短を問わず) 在外研究に従事した経験のある教官数。

それぞれの語学につき〔在外研究人数／同じ外国語科の専任教官数(同パーセンテージ)〕の形で表わす

グループ別 語学別	A	B	C	計 (A+B+C)
英	92/221 (41.6%)	35/138 (25.4%)	68/224 (30.4%)	195/583 (33.4%)
独	95/191 (49.7%)	34/101 (33.7%)	30/137 (21.9%)	159/429 (37.1%)
仏	46/60 (76.7%)	6/20 (30.0%)	16/37 (43.2%)	68/117 (58.1%)
露	7/23 (30.4%)	1/4 (25.0%)	4/4 (100%)	12/31 (38.7%)
中	4/7 (57.1%)	0/5 (0%)	2/7 (28.6%)	6/19 (31.6%)
西	0/0			
そ の 他	0/4			
計	251/506 (49.6%)	76/268 (28.4%)	120/409 (29.3%)	440/1183 (37.2%)

② 上記のうち在外研究一年以上の教官数

グループ別 語学別	A	B	C	計 (A+B+C)
英	65/221 (29.4%)	22/138 (15.9%)	38/224 (16.9%)	125/583 (21.5%)
独	65/191 (34.0%)	18/101 (17.8%)	8/137 (5.8%)	91/429 (21.2%)
仏	31/60 (51.7%)	4/20 (20.0%)	4/37 (10.8%)	39/117 (33.3%)
露	5/23 (21.7%)	1/4 (25.0%)	4/4 (100%)	10/31 (32.3%)
中	3/7 (42.9%)	0/5 (0%)	1/7 (14.3%)	4/19 (21.1%)
西				
そ の 他				
計	169/506 (33.4%)	45/268 (16.8%)	58/409 (14.2%)	219/1183 (22.7%)

③ 在外研究 2 年前後以上の教官数

語学別グループ別	A	B	C	計 (A+B+C)
英	4/221 (1.8%)	5/138 (3.6%)	11/224 (4.9%)	20/583 (3.5%)
独	2/191 (1.0%)	1/101 (1.0%)	10/137 (7.3%)	13/429 (3.0%)
仏	10/60 (16.7%)	0/20 (0%)	2/37 (5.4%)	12/117 (10.3%)
露	0/23 (0%)	0/4 (0%)	0/4 (0%)	0/31 (0%)
中	0/7 (0%)	0/5 (0%)	0/7 (0%)	0/19 (0%)
西・その他			/	
計	16/506 (3.2%)	6/268 (2.2%)	23/409 (5.6%)	45/1183 (3.8%)

④ 以上のうち、文部省在外研究員の資格で研究した教官数

語学別グループ別	A	B	C	計 (A+B+C)
英	7/221 (2.2%)	0/138 (0%)	10/224 (4.5%)	17/583 (2.9%)
独	21/191 (11.0%)	5/101 (5.0%)	12/137 (8.8%)	38/429 (8.9%)
仏	5/60 (8.3%)	0/20 (0%)	3/37 (8.1%)	8/117 (6.8%)
露	1/23 (4.3%)	0/4 (0%)	2/4 (50.0%)	3/31 (9.7%)
中	0/7 (0%)	0/5 (0%)	1/7 (14.3%)	1/19 (5.3%)
西・その他				
計	34/506 (6.7%)	5/268 (1.9%)	28/409 (6.8%)	67/1183 (5.7%)

2) 国内研修

いわゆる内地留学は A 2 名 B 2 名

短期研修者は A 14 名 B 12 名

○グループについては不明

V 外国語担当教官の新規採用について

1) 困難があるか

イ. ほとんど困難はない ロ. やや困難 ハ. きわめて困難

A

困 難 度 \ 担当外国語		英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	スペイン語	計	%	
常 勤	イ	3	1	0	0	1	0	5	(11.6%)	
	ロ	5	5	5	4	3	1	23	(53.5%)	
	ハ	2	3	4	4	2	0	15	(34.9%)	
非 常 勤	イ	1	1	1	0	0	0	3	(7.0%)	
	ロ	7	5	6	6	2	1	27	(62.8%)	
	ハ	2	3	2	3	3	0	13	(30.2%)	

B

困 難 度 \ 担当外国語		英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	スペイン語	計	%	
常 勤	イ	2	3	3	1	2	0	11	(22.0%)	
	ロ	12	10	7	2	1	0	32	(64.0%)	
	ハ	1	2	2	2	0	0	7	(14.0%)	
非 常 勤	イ	3	4	3	2	2	0	12	(27.5%)	
	ロ	10	7	5	1	1	0	24	(47.1%)	
	ハ	1	4	4	3	1	0	13	(25.5%)	

C

困 難 度 \ 担当外国語		英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	スペイン語	計	%	
常 勤	イ	15	10	10	3	4		41	(33.6%)	
	ロ	24	16	16	1	2		50	(41.0%)	
	ハ	4	14	14	4	3		31	(25.4%)	
非 常 勤	イ	7	7	7	2	3	0	26	(19.6%)	
	ロ	25	17	13	5	2	1	63	(52.1%)	
	ハ	3	14	8	5	6	0	36	(28.3%)	

計 (A + B + C)

常 勤	イ	57 (26.5%)
	ロ	107 (48.8%)
	ハ	53 (24.7%)
非 常 勤	イ	43 (19.6%)
	ロ	114 (52.1%)
	ハ	62 (28.3%)

- 注
- 全国的には「やや困難」(ロ)の解答が最も多い(常勤で48.8%、非常勤では52.1%)
 - Aグループで「やや困難」(ロ)と「きわめて困難」(ハ)とを合わせると常勤者の場合88.4%、非常勤では93%になる。
 - 全国的にも(ロ)と(ハ)を合わせると、常勤73.5%、非常勤80.4%になる。
 - 「殆んど困難なく」(イ)の解答が比較的多かったのはCグループの常勤者の場合(33.6%)とBグループの非常勤の場合(27.5%)であるが、いずれも低い比率である。

2) 困 難 な 理 由

区 分 別	グループ別	A	B	C	計 (A + B + C)
イ. 地 域 的 理 由		6	9	27	42 (40.8%)
ロ. 経 済 的 理 由		3	1	7	11 (10.7%)
ハ. 研究条件の利、不利		5	5	7	17 (16.5%)
ニ. そ の 他		10	4	19	33 (32.0%)

語学別にせず一括した。

イの地域的理由が一番多かったが、イ、ロ、ハそれぞれ切り離せない面が多い。
ニ(その他)の中にはその分野の適任者、研究者の絶対数不足をあげているの
が多い。

3) 採用の方法について

区 分 別	グループ別	A	B	C	計 (A + B + C)
イ. 公 募 に よ る		3	6	18	27 (35.0%)
ロ. 学内教官の推薦による		8	9	24	41 (53.2%)
ハ. そ の 他		2	1	6	9 (11.8%)

第 二 部 学生に関する質問事項

I 外国語の種類と単位数

1) 開講している外国語の種類

それぞれの外国語につき〔開講大学数（グループ内大学数中のパーセンテージ）〕の形で表わす。

外国語名 グループ	英 語	独 語	仏 語	露 語	中国語	スペイン語	ラテン語	ギリシャ語	イタリア語
A	10 (100%)	10 (100%)	10 (100%)	10 (100%)	7 (70%)	2 (20%)	5 (50%)	4 (40%)	0
B	15 (100%)	15 (100%)	15 (100%)	10 (66%)	7 (46%)	1 (7%)	4 (28%)	1 (7%)	0
C	45 (100%)	45 (100%)	38 (84%)	22 (49%)	19 (42%)	5 (11%)	3 (7%)	1 (2%)	4 (9%)
A+B+C	70 (100%)	70 (100%)	63 (90%)	42 (60%)	33 (47%)	8 (11%)	12 (17%)	6 (9%)	4 (6%)

2) 卒業要件となる外国語の単位

回答が漠然としている場合が多いので大体的見当を示すに過ぎない。

外国語総単位数（卒業最低要件）

グループ内大学数中のパーセンテージ

単 位	グループ別	A	B	C
8	(1カ国語)	0	0	18%
12	(2カ国語)	10%	50%	45%
14	(")	20%	25%	18%
16	(")	60%	25%	13%
18	(")	0	0	2%

第 1 外国語の単位数

8単位～12単位の間であるが、各グループを通じ8単位がほとんどを占める。

8単位をこえる単位数を卒業要件としているのは、

A=2、B=1、C=3大学であるが、医学部関係では、10～12単位の要求されるところがある。

1外国語のみを卒業要件としているのは、

A、Bグループにはなく、Cで7～9大学（1部の学部）。

第 2 外国語の単位数

グループ内大学数中のパーセンテージ

グループ名 単 位	A	B	C
4 単位	30%	60%	57%
6 "	30%	13%	18%
8 "	40%	26%	25%

総じて外国語の単位数は、第1、第2を通じて4～12の範囲内にあり、

ラテン、ギリシャ、イタリア語などに、例外的に2単位制が見られるにすぎない。

3) 卒業要件となる外国語の種類

必須外国語の種類

グループ内大学数中のパーセンテージ

外国語名	グループ名	A	B	C
英 語 必 須		60%	75%	40%
英 ・ 独 必 須				19%
英 ・ 独 いずれか必須				7%
2カ国語自由選択		40%	25%	27%
1カ国語のみ				7%

必須外国語となりうる外国語の種類

グループ内大学数中のパーセンテージ

外国語名 \ グループ名	A	B	C
英	100%	100%	100%
独	100%	100%	100%
仏	100%	100%	63%
露	100%	60%	22%
中	50%	60%	24%
西	0%	6%	7%

4) 必須単位数以上をとる学生数

外国語名 \ グループ名	A	B	C
英	64	1,014	2,734
独	314	961	3,952
仏	452	161	1,619
露	310	79	298
中	104	35	226
西	92	0	0
古典語	380	0	21
計	1,716	2,250	8,850
総学生数比%	9%	12%	34%

Ⅱ 外国語の履習方法および授業内容

1) 外国語の履習方法

卒業要件となる外国語 (A + B + C)

外国語名	英	独	仏	露	中	その他
開講大学数	70	70	63	42	33	16
内卒業要件となる大学数(下の%はこれとの比)	70	70	54	25	25	8
1-2年平均	63(90%)	54(77%)	39(72%)	21(80%)	21(80%)	3
1-2年でいずれかに重点	1	16(23%)	11(20%)	4(18%)	4(18%)	4
3年まで	5	5	3	0	0	2
4年まで	5	3	4	2	2	3

A、B、Cのグループ別に見ると、Cグループで3年、4年までの履習方法を取っているところが比較的多く、A、Bグループにはその例がない。

卒業要件とならない外国語 (A + B + C)

外国語名	英	独	仏	露	中	その他
回答大学数	30	33	35	27	19	9
1-2年	12	14	13	11	8	3
3年まで	2	4	6	2	0	2
4年まで	16	15	15	17	11	5

2) 授 業 の 内 容

括弧外は大学数、括弧内はグループ内大学数中のパーセンテージ示す。

A

授 業 の 内 容 / 外 国 語 名	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	其 他
文法中心のクラスをおく	4 (40%)	8 (80%)	9 (90%)	6 (60%)	5 (71%)	1 (20%)
講読中心のクラスをおく	7 (70%)	8 (80%)	9 (90%)	6 (60%)	5 (71%)	1 (20%)
書くことを中心とするクラスをおく	6 (60%)	3 (30%)	3 (30%)	2 (20%)	1 (14%)	0
聞く、話すことを中心とするクラスをおく	7 (70%)	5 (50%)	5 (50%)	3 (30%)	3 (42%)	0
上記の区別を設けず、総合的訓練のクラスのみをおく	5 (50%)	3 (30%)	3 (30%)	2 (20%)	2 (28%)	1 (20%)
開講の大学数が9以下のものの総数上のパーセンテージはその数に対するもの					7	5

B

授 業 の 内 容 / 外 国 語 名	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	其 他
文法中心のクラスをおく	6 (40%)	13 (87%)	9 (60%)	3 (30%)	3 (42%)	1 (25%)
講読中心のクラスをおく	11 (73%)	12 (80%)	9 (60%)	4 (40%)	4 (57%)	1 (25%)
書くことを中心とするクラスをおく	9 (60%)	2 (13%)	1 (7%)	0	1 (14%)	1 (25%)
聞き、話すことを中心とするクラスをおく	7 (46%)	3 (20%)	2 (13%)	0	2 (28%)	1 (25%)
上記の区別を設けず、総合的訓練のクラスのみをおく	4 (27%)	4 (27%)	4 (27%)	5 (50%)	3 (42%)	1 (25%)
開講の大学数が14以下のものの総数上のパーセンテージはその数に対するもの				10	7	4

C

授 業 の 内 容 \ 外 国 語 名	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	其 他
文法中心のクラスをおく	5 (11%)	28 (62%)	20 (53%)	6 (27%)	7 (37%)	5 (71%)
講読中心のクラスをおく	26 (58%)	29 (64%)	20 (53%)	4 (18%)	7 (37%)	1 (14%)
書くことを中心とするクラスをおく	10 (22%)	4 (9%)	3 (8%)	1 (5%)	2 (11%)	2 (29%)
聞き、話すことを中心とするクラスをおく	21 (46%)	9 (20%)	8 (21%)	4 (18%)	2 (11%)	4 (57%)
上記の区別を設けず、総合的訓練のクラスのみをおく	23 (51%)	15 (33%)	15 (39%)	11 (50%)	11 (58%)	0
開講大学数が44以内のものの総数上のパーセンテージはその数に対するもの			38	22	19	7

A + B + C

授 業 の 内 容 \ 外 国 語 名	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	其 他
文法中心のクラスをおく	15 (21%)	50 (71%)	38 (60%)	15 (36%)	15 (45%)	7 (44%)
講読中心のクラスをおく	44 (63%)	49 (70%)	38 (60%)	14 (33%)	16 (48%)	3 (19%)
書くことを中心とするクラスをおく	25 (36%)	9 (13%)	7 (11%)	3 (7%)	4 (12%)	3 (19%)
聞き、話すことを中心とするクラスをおく	35 (50%)	17 (24%)	15 (24%)	7 (17%)	7 (21%)	5 (31%)
上記の区別を設けず、総合的訓練のクラスのみをおく	32 (46%)	22 (31%)	22 (35%)	18 (42%)	16 (48%)	2 (13%)
開講大学数が69以内のものの総数上のパーセンテージはその数に対するもの			63	42	33	16

Ⅲ 外国語の学習条件について

1) クラス編成の方法

グループ別	A							B							C							A B C
外国語名 編成方法	英	独	仏	露	中	その他	計	英	独	仏	露	中	その他	計	英	独	仏	露	中	その他	計	総合計
イ. 各クラスの学生数を大体平均化して、 語学のためのクラスを編成している	7	8	7	5	3	0	30	7	7	3	1	0	0	18	17	16	11	5	5	1	55	103
ロ. 学科もしくは専攻別に分けている	3	3	2	0	1	0	9	7	8	5	3	3	1	27	24	24	9	3	2	2	64	100
ハ. 学生が、かなり自由にクラスもしくは は教官を選択できる	7	1	2	1	1	0	12	5	4	5	1	2	1	18	5	4	8	4	5	2	28	58
ニ. 学生の能力別に編成している	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
ホ. その他の方法による	1	0	0	1	1	2	5	1	1	3	4	1	0	10	2	2	6	10	6	1	27	42

2) 卒業要件となる外国語のクラスの大きさとその数

A ()外はクラス数、()内はそれぞれ語学の総クラス数中の%を示す。)

外国語名 1クラス学生数	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	そ の 他	計
30名以下	109(10.3%)	21(2.9%)	41(22.7%)	10(16.7%)	16(51.6%)	2(16.7%)	199(9.7%)
50名前後まで	639(60.4%)	527(73.4%)	104(57.5%)	23(38.3%)	13(41.9%)	2(16.7%)	1,308(63.5%)
70名前後まで	281(26.6%)	163(22.7%)	29(16.0%)	19(31.7%)	0(0%)	0(0%)	492(23.9%)
150名前後まで	29(2.7%)	0(0%)	0(0%)	2(3.3%)	0(0%)	7(58.3%)	38(1.8%)
150名前後以上	0(0%)	7(1.0%)	7(3.9%)	6(10.0%)	2(6.5%)	1(8.3%)	23(1.1%)
合 計	1,058	718	181	60	31	12	2,060

B

外国語名 1クラス学生数	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	そ の 他	計
30 名 以 下	27 (2.9%)	30 (4.7%)	18 (12.1%)	8 (28.6%)	13 (41.9%)	0 (0.0%)	96 (5.5%)
50 名前後まで	534 (58.7%)	349 (55.7%)	81 (54.4%)	15 (53.5%)	17 (54.8%)	1 (33.3%)	997 (57.0%)
70 名前後まで	266 (29.2%)	199 (31.8%)	45 (30.2%)	5 (17.9%)	1 (3.2%)	1 (33.3%)	517 (29.6%)
150 名前後まで	75 (8.3%)	44 (7.0%)	5 (3.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	125 (7.2%)
150 名前後以上	8 (0.9%)	5 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (0.8%)
合 計	910	627	149	28	31	3	1,748

C

外国語名 1クラス学生数	英 語	独 語	仏 語	露 語	中 国 語	そ の 他	計
30 名 以 下	75 (6.3%)	40 (5.5%)	24 (16.9%)	10 (35.7%)	10 (38.5%)	8 (57.1%)	167 (7.9%)
50 名前後まで	758 (64.0%)	479 (65.7%)	86 (60.6%)	11 (39.3%)	12 (46.2%)	5 (35.7%)	1,351 (63.6%)
70 名前後まで	325 (27.4%)	188 (25.8%)	30 (21.1%)	7 (25.0%)	2 (7.7%)	1 (7.1%)	553 (26.0%)
150 名前後まで	27 (2.3%)	20 (2.7%)	2 (1.4%)	0 (0%)	2 (7.7%)	0 (0%)	51 (2.4%)
150 名前後以上	0 (0%)	2 (0.3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (0.1%)
合 計	1,185	729	142	28	26	14	2,124

A+B+C

外国語名 1クラス学生数	英	独	仏	露	中	その他	計
30名以下	211(6.7%)	91(4.4%)	83(17.6%)	28(24.1%)	39(44.3%)	10(34.5%)	462(7.8%)
50名前後まで	1,931(61.2%)	1,355(65.3%)	271(57.4%)	49(42.2%)	42(47.7%)	8(27.6%)	3,656(61.6%)
70名前後まで	872(27.7%)	550(26.5%)	104(22.0%)	31(26.7%)	3(3.4%)	2(6.9%)	1,562(26.3%)
150名前後まで	131(4.2%)	64(3.1%)	7(1.5%)	2(1.7%)	2(2.3%)	8(27.6%)	214(3.6%)
150名前後以上	8(0.3%)	14(0.7%)	7(1.5%)	6(5.2%)	2(2.3%)	1(3.4%)	38(0.6%)
合計	3,153	2,074	472	116	88	29	5,932

IV 入学試験について

1) 音声面のテストの有無と理由

グループ 外国語名 実施の有無		A						B						C					
		英	独	仏	露	中	計	英	独	仏	露	中	計	英	独	仏	露	中	計
行なわれている		1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	5
行なわれていない		7	5	5	1	1	19	13	5	2	0	0	20	41	14	5	0	0	60
行なわれない理由	必要を認めない	1	1	1	0	0	3	0	1	1	0	0	2	1	4	0	0	0	5
	技術的に困難	6	3	3	1	1	14	7	2	1	0	0	10	23	6	2	0	0	31
	受験生が多すぎる	2	1	2	0	1	6	5	0	0	0	0	5	16	0	0	0	0	16
	公平を期し難い	2	2	2	0	1	7	3	0	0	0	0	3	5	0	0	0	0	5
	その他	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1

2) 第2外国語を入試科目に加えているか否か

グループ 実施の有無	A	B	C	計
加えている	7	9	17	33
加えていない	0	5	22	27

グループ 外国語名	A					B					C				
	独	仏	露	中	計	独	仏	露	中	計	独	仏	露	中	計
加えている大学数	7	5	1	1	14	9	4	0	1	14	17	9	0	0	26
受験した学生数	109	43	4	0	156	74	18	0	2	94	56	31	0	0	87

第 三 部 施設に関する質問事項

I ランゲージ・ラボラトリー（L・L・）について

1) L・L・の有無

区 分 別	グループ別	A	B	C	計
(イ)	有	10	9	29	48
(ロ)	無	0	6	15	21
(ハ)	本項無回答	0			

2) L・L・の所属学部もしくは教科等

区 分 別	グループ別	A	B	C	計
(イ)	教養部、教養学部	6	3	5	14
(ロ)	英語科教室その他 外国語科教室等	3	4	11	18
(ハ)	教 育 学 部		1	5	6
(ニ)	経 済 学 部			2	2
(ホ)	法 文 学 部		1		1
(ヘ)	文 理 学 部			1	1
(ト)	共 用			1	1
(セ)	独 立	1			1
(リ)	学 生 部			1	1

区 分 別	グループ別	A	B	C	計
(マ)	図 書 館			2	2
(メ)	教 務 係		1	1	2
	計	10	10	29	49※

※ (イ) LL有りと答えた大学が48校で、この計が49となっているのは(B)の1大学が、法文、教育の二学部それぞれLL有りと答えているためである。

なお上記の(ロ)～(ハ)のように学部所属のものの中には専門課程においてのみ使用されているものもあるかも知れない。ことに(ハ)の場合などにこのことが考えられる。(C)の1大学は一般教育に使用していないと明記している(所属は教育学部)

3) L・L・設置の時期(年度)

昭和26年	1
35年	3
36年	2
37年	2
38年	3
39年	3
40年以降	32 (内40・41年度 計11)
記入なし	3

(イ) LLの耐用年限は約5年と考えられるので約半数の大学においては機器の入れかえ時期に来ていると思われる。

4) L・L・ の予算

(イ) 正式に与えられている	2
(ロ) 学内予算でまかなう	3 4
部 内	3
教科内	5
(ハ) その他 特に考慮せず	1
維持予算なし	1
外国語教官負担	1
記載なし	4

5) L・L・ 増設の必要を認めているか

(イ) 認めている	3 7 (英 3 6、独 1)
(ロ) 認めていない	1 0 (英語に関しては認めない 1 を含む)
(ハ) 更新したい	1

6) L・L・ 以外の、もしくはそれに附随する視聴覚教具の有無。

(イ) テープ・レコーダー有り	6 4
(ロ) ビデオ・テープ・レコーダー有り	1 2
(ハ) オーバーヘッド・プロジェクター有り	3 2
(ニ) 映 写 機 有 り	3 0
(ホ) レコード・プレーヤー有り	5 8
(ヘ) そ の 他	

スライド・プロジェクター	6	エンドレス・トレーナー	1
テ レ ビ	3	マスター・オートルックス	1
ポーズメーカー	1	ソノグラフ	1
ダビングマシン	1	テープ編集器	2
ビデオ・カメラ	1	音声分析機	2
ハンディ・ラボ	1	計	2 1
FMラジオ	1		

7) 語学関係の特別な学習室・図書室等の有無

(イ) 有 る	1 2
(ロ) 無 い	5 4

8) Language Center (またはこれに類するもの)の有無

(イ) 有 る	3 (内訳… A 0、B 1、C 2)
(ロ) 無 い	6 3
(ハ) 記載なし	9

9) L・L・ の種類・規模(座席数)および利用状況

(1) L・L・ の種類と規模

(イ) Audio-Passive (A p)

グループ	A	B	C	計
大 学 数	1	1	2	4
座席数に対する学生数の割合	$\frac{2030}{126}$ 16.11	$\frac{1255}{60}$ 20.91	$\frac{715}{83}$ 8.61	$\frac{4000}{269}$ 14.88

(ロ) Audio-Active (A a)

グループ	A	B	C	計
大 学 数	2	3	5	1 0
座席数に対する学生数の割合	$\frac{4129}{240}$ 17.20	$\frac{3630}{147}$ 24.69	$\frac{3010}{206}$ 14.61	$\frac{10769}{593}$ 18.16

(1) Audio-Active-Comparative (Aac)

座席数 \ グループ	A	B	C	計
100～120	2			
70～76		2	1	3
50～66	8	4	8	20
45前後		3	9	12
40以下		2	3	5
計 (大学数)	10	11	21	42

いのうち

A p、A a c併設 3大学

A a、A a c併設 7大学

(2) Visual aids, Analyser の併置の有無

(1) Visual aidsが

有る 24

無い 25

(2) Analyser が

有る 3

無い 43

(3) A pは聞き取り練習のみ可能

A aは聞き取りと話し方(自分の声もマイクに入れて
聞えてくるようにできる)の練習が可能

A a cは聞き話し、それを録音・再生して比較検討で
きる

Analyser は学生の正答・誤答の分析・調査をす
る装置

(3) L.L.の利用状況

(1) 利 用 費

利 用 度 \ 外 国 語 名	英	独	仏	露	中	西	伊	蒙	羅
(a) 非常によく利用されている	16	7	7	2	3	1	1	1	0
(b) かなりよく "	23	19	9	3	4	2	0	0	0
(c) あまり利用されていない	6	15	20	6	7	0	0	0	1

(2) 上記(1)(c)の場合の理由

(a) 時間的余裕がない	3	7	8	4	3	0	0	0	1
(b) 効果が消極的	1	0	2	0	0	0	0	0	0
(c) 操作になれにくい	1	0	1	0	0	0	0	0	1
(d) その他(助手不足、座席不足、設備不良等)	3	3	4	1	3	0	0	0	0

(3) (1)(a)(b)の場合の利用の方法

(1) 正規の授業に組み入れてある	20	14	10	2	5	1	1	0	1
(2) " 組み込まれていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3) 併 用	23	7	14	4	4	2	0	1	0

上記(1)の場合

(a) 学科全体で使用	21	15	11	3	4	3	1	1	0
(b) 各教官の自由	22	17	15	3	5	1	1	1	1

上記(2)の場合

(a) 学生が自由に使用できるが プログラムは一定	4	2	2	0	0	0	0	0	0
(b) ライブラリ・システム採用	4	4	3	2	2	0	0	0	0
(c) (a)(b)の併用	2	2	2	0	1	0	0	0	0

第 四 部 改革状況に関する質問事項

1) 外国語教育の改革について

	A	B	C	各校数に対する%
イ. 改革がなされた	26	(7:6:13)	39	(70:40:29)
ロ. 現在検討中	27	(4:7:16)	38	(40:47:36)
ハ. 改革の気運がある	16	(4:2:10)	23	(40:13:22)
ニ. 気運もない	7	(0:1:6)	10	(0:7:13)
ホ. 本項無回答	8	(1:2:5)	11	(10:20:20)

2) (イ)の具体的内容と問題点

- ・講読偏重を改め、4技能を養えるようにした…………… 15(6:4:5)
 - ・定クラス制を止め、クラスを自由選択できるようにした^{*}…………… 13(7:3:3)
- (但し、多くは2年目の外国語の場合)

- ・必修単位をへらし、余力で多様な増加単位のクラス
を設けた…………… 6(2:1:3)
- ・前期2年だけでなく、4年にわたって外国語科目を配当した…………… 5(1:0:4)
- ・開講外国語の種類をふやした…………… 5(0:2:3)
- ・大クラスと小クラスに分けた…………… 4(3:0:1)
- ・外国語ゼミを新設した…………… 3(2:0:1)
- ・クラス数をふやすことにより、クラス・サイズを
小さくした…………… 2(0:0:2)
- ・同学年担当者の打合せ会を定期的にもつことにした…………… 1(0:0:1)

*自由選択別の問題点

- ・学生が単位のとり易い方に流れる…………… 1(1:0:0)

- ・ほとんどが講読で、変りばえない…………… 1(0:1:0)
- ・登録事務のため学年当初の授業が混乱する…………… 1(0:1:0)
- ・学生自治会がクラス解体に強く反対してい
る…………… 1(1:0:0)

3) (ロ)の予想される内容

- ・単位の整理…………… 6(2:2:2)
- ・LLの導入・充実…………… 5(0:1:4)
- ・クラスの自由選択制…………… 4(1:1:2)
- ・外国語の種類をふやす…………… 3(0:1:2)
- ・講読偏重を改める…………… 3(0:1:2)
- ・4年一貫の外国語教育を行なう…………… 1(0:0:1)
- ・ゼミを設ける…………… 1(0:0:1)
- ・training 中心の語学と教養の語学に分離する…………… 1(0:1:0)
- ・西洋文学講座を設ける…………… 1(0:0:1)
- ・外人教師の採用…………… 1(0:1:0)
- ・クラス・サイズ縮小…………… 1(0:1:0)
- ・語学自習室の開設…………… 1(0:0:1)
- ・teaching machineの導入により、多人数教育
と少人数教育を併用する…………… 1(0:0:1)
- ・80分授業(講義科目扱い)を止めて、120分
授業(演習扱い)にする…………… 1(0:0:1)

4) 要 望 事 項

- ・定 員 増…………… 15(2:6:7)
- ・外人教師の配置…………… 5(5:1:2)

- 海外研修 4 (1 : 1 : 2)
- LL (新設・維持費・助手) 4 (0 : 1 : 3)
- 施設改善 3 (1 : 1 : 1)
- 外国語教育研究所 (Language Center) の設置 3 (2 : 0 : 1)
- 研究費の増額 (講座制なみに) 3 (1 : 0 : 2)
- ITC を正規化する予算 1 (0 : 0 : 1)
- 国内外国語研修センターの設置 1 (1 : 0 : 0)
- Sabbatical Year の制度 1 (1 : 0 : 0)

特に国大協あてと思われる要望事項

- 教官純増を実現した例があれば教えてほしい C の 1 大学
- 教員養成を主とした大学用のアンケートを望む C の 1 大学
- 外国語教育研究所 (Language Center) の各大学における
計画実現を国大協に積極的に支持してもらいたい A の 1 大学

以 上